

猛暑の中、汗だくになりながら、朝早くからお集まり頂き、2011年7月23日（土）9時半から、大阪薬業年金会館において、広報委員長会議を開催させて頂きました。

昨年度ですが、テレビ大阪との共同制作で、今年2月にインドで実際に行った「ポリオワクチン接種」の活動を基に、ポリオ撲滅のための番組を制作してまいりました。これが完成し、「感染症ポリオ 残り1%の闘い」という番組で、さる7月18日（月）に放映されました。

地区広報委員会として、ロータリー活動の實際を、このような放送が出来るまでに至ったことは、長年培ってきた地区の会員皆様のご理解と、ご協力の賜でございます。改めて感謝申し上げます。広報委員会としては、この番組を、DVDに複製して、日本全国の各ガバナー事務所に送らせて頂きました。また当日、ご参加頂きました各クラブ委員長様にもお持ち帰り頂き、各クラブにおいて、ご覧頂き、会員増強その他のツールとして、お役立て頂きたく存じます。

当日、9時前から、この番組DVDを、会議場にて上映させて頂きました。9時半から会議が始まり、岡部泰鑑ガバナーの挨拶の後、委員長、今年度の地区広報の予定について、一通り説明させて頂きました。

基本的には、「見直しをすすめ 新たな第一歩を」という方針の下、各クラブの広報活動がより活発になるようサポートさせて頂くことでございます。この為に、

- ①各クラブのホームページを充実させて頂くこと、
- ②東日本大震災関連の記事を掲載するために、各クラブから、原稿その他を、お送り頂きたいこと、また、
- ③マスコミを通じた広報の体制を今年度も継続していくことなど、説明させて頂きました。

また今年度は、第2660地区において、岡部ガバナー提案で、新しいロータリークラブを創立されることになり、その準備状況について、委員長より、

説明させて頂きました。

次にマスコミ関連で、ここ数年お世話になっている産経関西の3名の講師の方をお招きして、広報活動全般について、講演をして頂きました。

まずは、地区から産経関西への窓口としてお世話になる横山教生（よこやまのりお）様から、記事の流れを全般的に説明して頂き、各クラブへ、記事の提供を呼びかけて頂きました。

次に、産経新聞総合企画室の岡崎秀俊（おかざきひでとし）様から、広報の基となる記事そのものの書き方や、ネット社会における広報活動のあり方についての、講演を頂きました。

当日、ご参加頂きました各クラブ広報委員長の皆様には、日頃、インターネットには、あまり接しておられない方もいらっしゃいましたが、マスコミ業界の中心におられる方の講演により、ネット社会に対するご理解がさらに深まったものと存じます。

そして、産経新聞総合企画室長の田所龍一（たどころりゅういち）様から、広報活動の基本部分を、講演して頂きました。田所様は、トラ番記者として、阪神タイガースの記事を通じて、長年にわたり、マスコミ業界の中でご苦労なされてこられた方で、自らをアピールする事の難しさを、お話し頂きました。

以上の講演の後、質疑応答があり、昼前に、暑い委員長会議を無事に終えることができました。

ロータリーの広報の目的が、いくつか書かれている中で、最も大事な広報は、「クラブのロータリアン一人ひとりが、自らロータリーを地域社会に正しく伝えること」という言葉で表わされています。

各クラブの委員長様には、猛暑の中、委員長会議にご参加頂きましたことに感謝申し上げますとともに、自クラブでの広報活動の一助となれば、幸いです。そして、各クラブが、奉仕活動を通じて、地域社会に、さらに深く根ざしていられる事を期待しております。

